



海における魚類、貝類、海藻類など水産生物資源の維持増大を中心に据えた水産系研究機関です。
県内の沿岸・沖合の漁業、養殖業の発展を目的に、
資源評価や増養殖技術開発、技術相談等の活動を行っています。

◎こんな分野に対応しています

- 1 資源量やその動向の評価と管理方法の開発
- 2 効率的な種苗生産技術の開発
- 3 増養殖技術の開発と指導
- 4 海水温や餌生物などの漁場環境調査
- 5 漁業経営に有益な各種情報の提供
- 6 漁業後継者の育成研修の開催
- 7 現場解決型「水産ドクター」制度の実施

●技術相談、共同研究など、お気軽にご相談ください。

◎こんな施設・設備などがあります

- 1 3隻の試験船
(開運丸199ト、青鵬丸65ト、なつどまり19ト)
- 2 陸奥湾海況自動観測装置
(通称ブイロボ)
- 3 魚類飼育施設



試験船開運丸

◎所在地とアクセス



〒039-0393381
青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
Tel : 017-755-2155 Fax : 017-755-2156

◎研究部と主な業務

資源管理部

本県の主要な漁業対象種について、資源量や資源動向を把握し、持続的に水産資源を利用するための管理方法などについて研究しています。



マダラ市場調査

漁場環境部

海的环境調査やイカ類の資源調査を行い、解析結果を漁業関係者に情報提供するとともに、ホタテガイが毒化する仕組みについて研究しています。



海況自動観測ブイ

資源増殖部

栽培漁業を推進するため、魚類の種苗生産技術開発と放流効果の検討、ナマコやウニ、アワビ、海藻類の増養殖技術を研究しています。



マコガレイ稚魚

ホタテガイ振興室

ホタテガイの安定生産を図るため増養殖に関する調査研究、技術開発を行うとともに漁業者に養殖管理などの各種の情報提供を行っています。



ホタテガイ



上空からの水産総合研究所

◎主な研究成果

◆アイナメの生態の解明

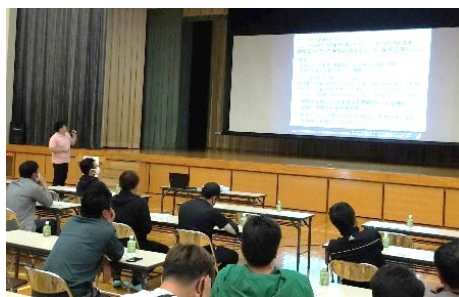
- 【目的】 アイナメの生態データに基づく効果的な資源管理方を策定するため、移動や成長等の生態を解明する。
- 【結果】 青森県におけるアイナメの、産卵期、成熟期、年齢と成長の関係、婚姻色と大綱の関係、等が明らかとなった。
- 【今後】 得られたデータを基に資源解析を行い、青森県におけるアイナメ資源を評価する。



婚姻色が出ているアイナメ

◆スルメイカ漁場探索の効率化

- 【目的】 スルメイカ漁業の漁場探索を効率化する手法を開発する。
- 【結果】 水温情報等を基に漁場形成される可能性が高い海域、低い海域を予測する手法を漁業者と共有した。
- 【今後】 手法のブラッシュアップを図り予測に改善が見られれば漁業者に普及する。



漁場形成予測手法を共有する学習会

◆マツカワの海面養殖技術の開発

- 【目的】 マツカワの海面養殖技術を開発する。
- 【結果】 陸上養殖施設や海面生簀で効率的に養殖できる技術を開発した。
- 【今後】 高水温対策を考慮した養殖技術を開発する。



陸上養殖



海面生簀

◆必要なホタテガイ稚貝の確保

- 【目的】 漁業者が天然採苗により必要なホタテガイ稚貝を確保する。
- 【結果】 天然採苗予報調査を行い、採苗に必要な情報を漁業者に提供、漁業者は適期に採苗器を投入し必要数を確保することができた。
- 【今後】 海洋環境の変化に対応した採苗指導を行う。



採苗器に付着した稚貝



養殖ホタテガイ

◎その他の試験・研究・調査

- ◆マグロ、サメなど広域回遊する資源の評価
- ◆ウスメバル、ハタハタ、ヤリイカなどの漁況予測
- ◆マコガレイ、アカモクの種苗生産試験
- ◆マコガレイ、キツネメバルの放流効果調査

- ◆水温や塩分などの海洋観測調査
- ◆貝毒プランクトンのモニタリング
- ◆陸奥湾の環境保全調査
- ◆「ほたてナビ」によるデータ提供
- ◆効率的な採苗のための付着傾向把握